

第2章 岩国市の健康を取り巻く状況



兄弟の春の遊戯園の市役所 原仁孝

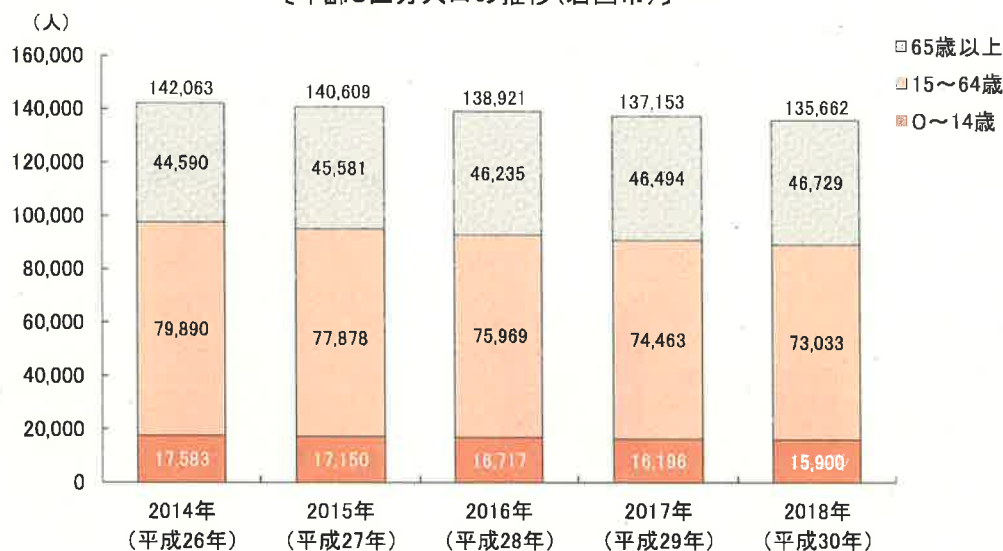


第2章 岩国市の健康を取り巻く状況

1 人口の推移

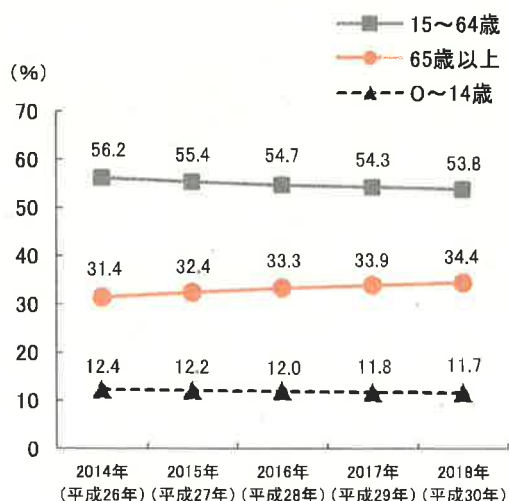
- 住民基本台帳による本市の2014（平成26）年の人口は14万2,063人であり、2018（平成30）年には13万5,662人となり、出生数の減少や転出者の増加などにより人口は減少傾向にあります。
- 0～14歳人口の割合、15～64歳人口の割合が低下しているのに対し、高齢化率（65歳以上人口の割合）は上昇し続けており、少子高齢化が進行しています。
- 高齢化率（65歳以上人口の割合）は、全国と比較して高くなっています。

〔年齢3区分人口の推移（岩国市）〕



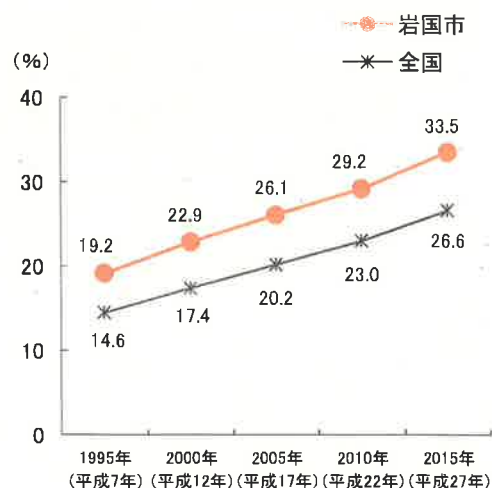
資料：住民基本台帳 各年4月1日時点（日本人及び外国人の合計）

〔年齢3区分人口割合の推移（岩国市）〕



資料：住民基本台帳 各年4月1日時点（日本人及び外国人の合計）

〔高齢化率の推移（岩国市・全国）〕



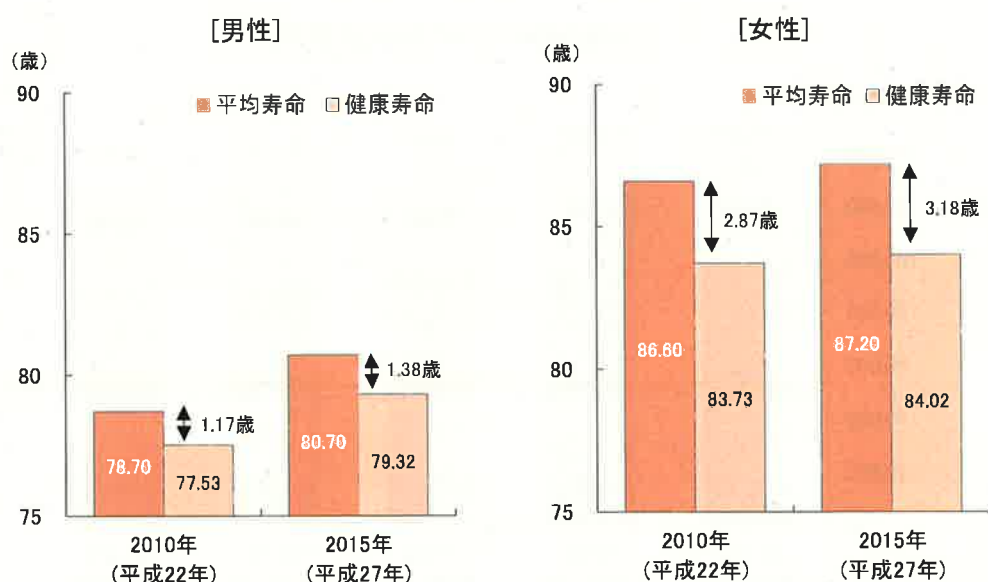
資料：国勢調査

2 健康寿命

(1) 健康寿命

- 健康寿命*1は、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる平均期間」、平均寿命は、「生まれてから死ぬまでの平均期間(0歳時の平均余命)」であり、本市の2015(平成27)年の健康寿命は男性が79.32歳、女性が84.02歳であり、2010(平成22)年と比較すると、平均寿命に比べ、健康寿命の伸びは小さくなっています。
- 山口県の健康寿命と平均寿命の差を比較すると、本市の方が大きくなっています。

[平均寿命と健康寿命(岩国市)]



資料: 平均寿命 厚生労働省生命表、健康寿命 山口県健康福祉部健康増進課調べ

[平均寿命と健康寿命(岩国市・山口県、2015(平成27)年)]

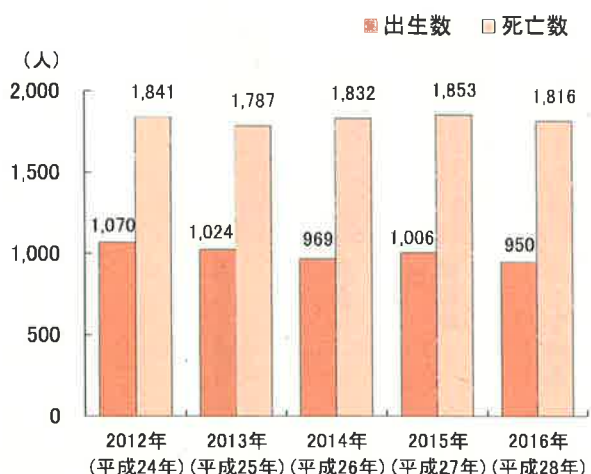
	男性			女性		
	平均寿命	健康寿命	差	平均寿命	健康寿命	差
岩国市	80.70 歳	79.32 歳	1.38 歳	87.20 歳	84.02 歳	3.18 歳
山口県	80.51 歳	79.19 歳	1.32 歳	86.88 歳	83.80 歳	3.08 歳

資料: 平均寿命 厚生労働省生命表、健康寿命 山口県健康福祉部健康増進課調べ

(2) 死亡の状況

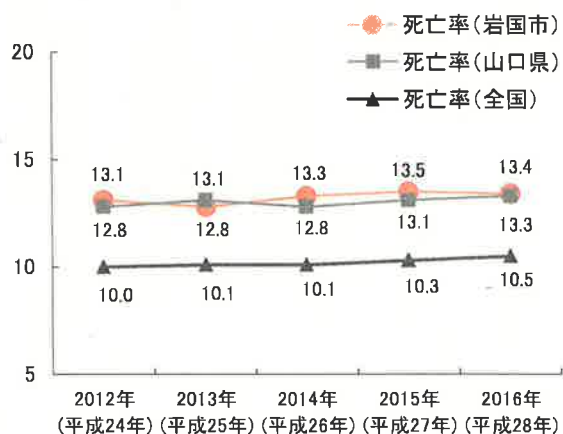
- 本市の死亡数は、出生数を上回っています。
- 死亡率（人口千対）は山口県と同様の値で推移していますが、全国と比較すると高くなっています。

〔出生数・死亡数(岩国市)〕



資料: 人口動態調査

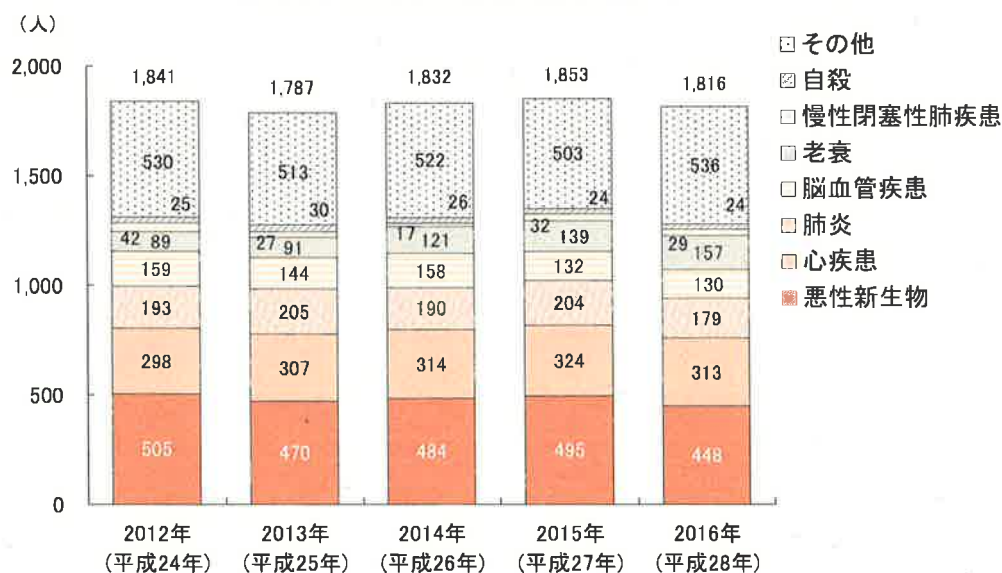
〔死亡率/人口千対(岩国市・山口県・全国)〕



資料: 人口動態調査

- 本市の死因別死亡者数は、悪性新生物*⁵が最も多く、心疾患（高血圧性除く）、肺炎の順となっています。
- 本市の2016（平成28）年の死因別死亡者割合は、循環器系の疾患、悪性新生物などを合わせた生活習慣病*⁶が5割を超えています。

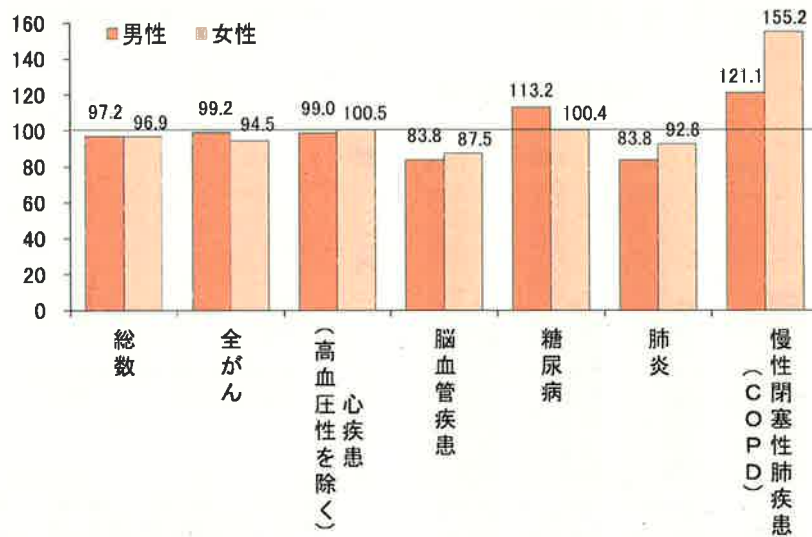
〔死因別死亡者数の推移(岩国市)〕



資料: 人口動態調査

- 山口県を基準とした本市の性別主要死因別標準化死亡比*⁷（2011（平成 23）年～2015（平成 27）年）は、男女共に慢性閉塞性肺疾患（COPD）*⁸が最も高く、続いて糖尿病、心疾患となっています。

〔標準化死亡比(岩国市、2011(平成 23)年～2015(平成 27)年)〕



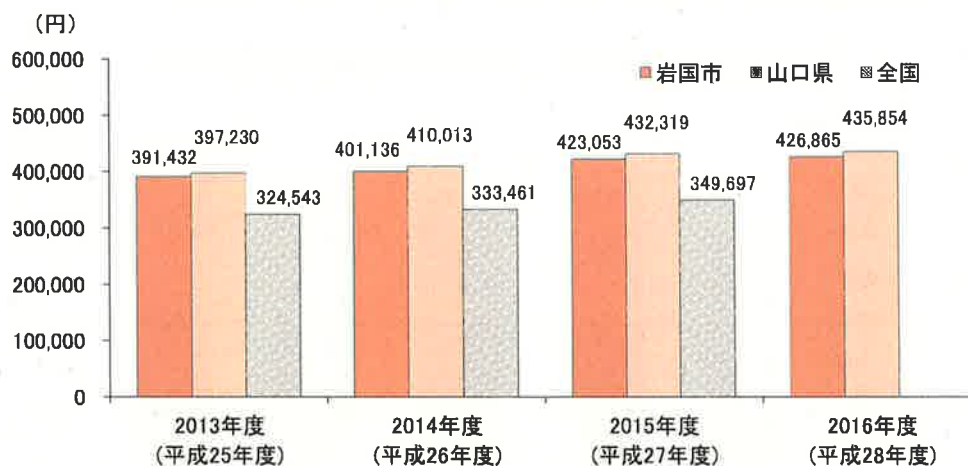
資料：やまぐち健康マップ

3 生活習慣病の状況

(1) 国民健康保険医療費の状況

- 本市の一人当たり国民健康保険医療費は、年々増加しています。山口県と比較するとやや低くなっていますが、全国を大きく上回っています。

〔国民健康保険一人当たり医療費の推移(岩国市・山口県・全国)〕

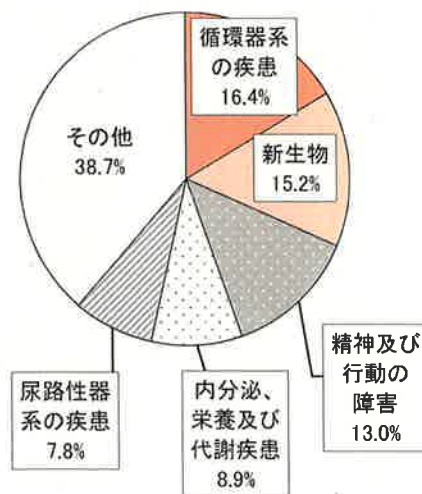


資料: 国民健康保険データベース

- 本市の国民健康保険の疾病別医療費割合(大分類)は、「循環器系の疾患」、「新生物」、「精神及び行動の障害」、「内分泌・栄養及び代謝疾患」、「尿路性器系の疾患」の順で高くなっており、「精神及び行動の障害」を除くと、48.3%が生活習慣病*⁶となっています。

〔疾病別医療費・割合(大分類、岩国市、2017(平成29)年度)〕

順位	疾病名	医療費 (千円)
1	循環器系の疾患	2,030,581
2	新生物	1,876,834
3	精神及び行動の障害	1,600,783
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	1,097,785
5	尿路性器系の疾患	958,192

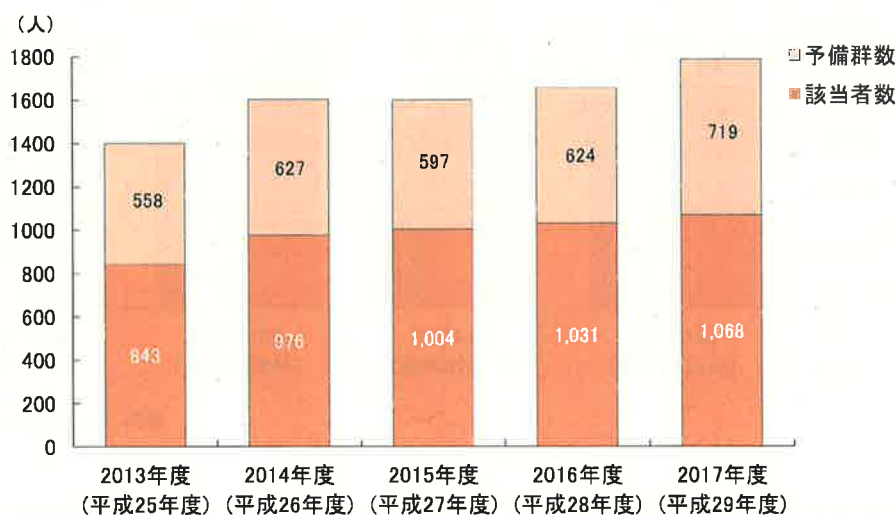


資料: 国民健康保険データベース

(2) 特定健康診査結果の状況

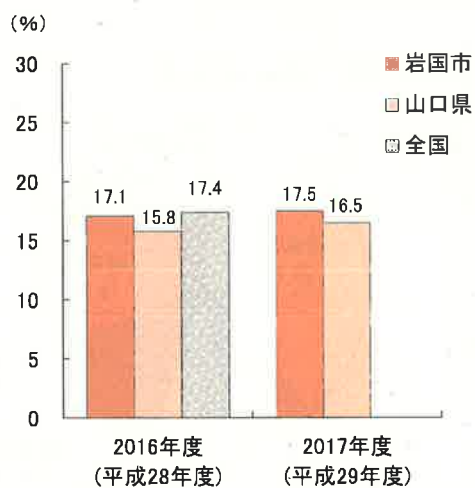
- 本市の国民健康保険特定健康診査*⁹受診者におけるメタボリックシンドローム該当者*¹⁰、予備群該当者は増加傾向にあります。
- メタボリックシンドローム該当者割合は、山口県よりも高くなっています。
- 2017（平成29）年度の性・年齢別のメタボリックシンドローム該当者割合は、男性が女性よりも高く、年齢が上がるほど高くなり、男性の60歳代、70～74歳では約3割となっています。

〔メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況（岩国市）〕

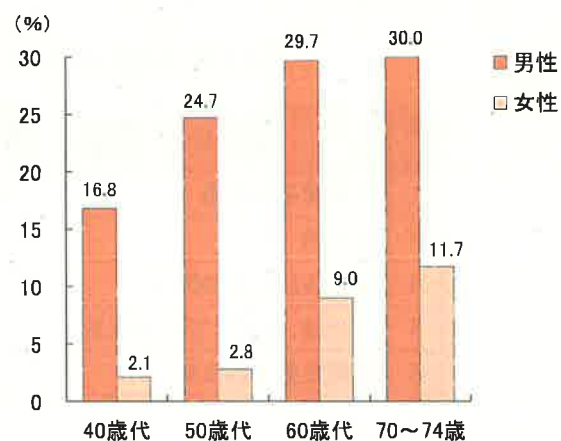


資料：特定健診等データ管理システム

〔メタボリックシンドローム該当者割合
（岩国市・山口県・全国）〕



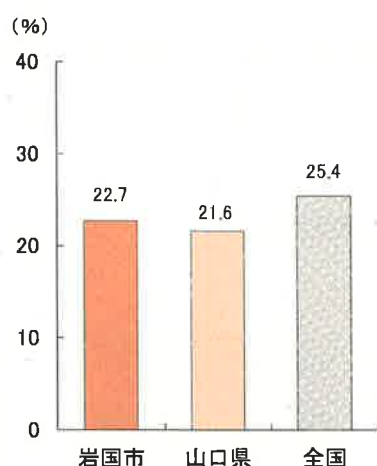
〔メタボリックシンドローム該当者割合
/性・年齢別（岩国市、2017（平成29）年度）〕



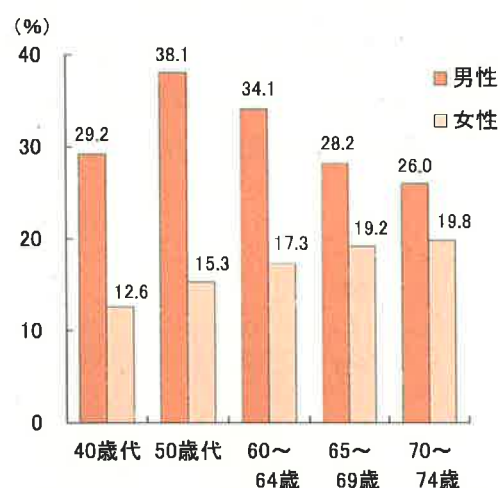
資料：特定健診等データ管理システム

- 本市の2017（平成29）年度のBMI^{*11}25以上の人の割合は22.7%であり、全国、山口県の値よりも低くなっていますが、山口県の値をやや上回っています。
- 2017（平成29）年度のBMI25以上の人の割合は、男性が女性よりも高く、男性50歳代で最も高く38.1%となっています。

〔BMI25以上の割合
（岩国市・山口県・全国、2017（平成29）年度）〕



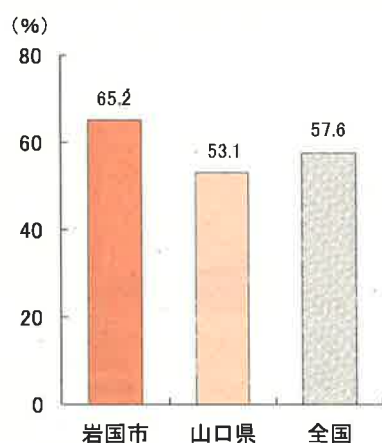
〔BMI25以上の割合/性・年齢別
（岩国市、2017（平成29）年度）〕



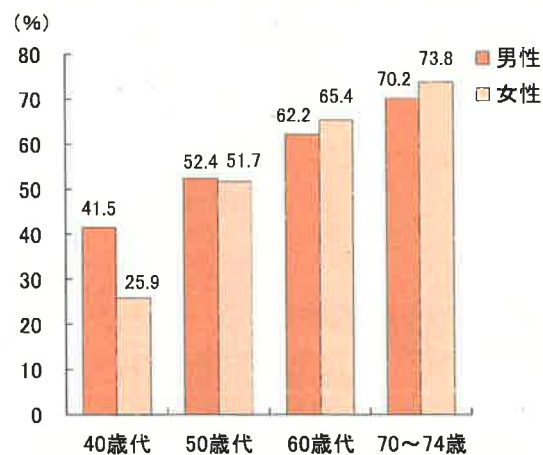
資料：国保データベースシステム

- 本市の2017（平成29）年度の糖尿病検査の1つであるHbA1c^{*12}が5.6以上の人の割合は65.2%であり、全国、山口県の値よりも高くなっています。
- 2017（平成29）年度のHbA1c5.6以上の人の割合は、年齢が上がるほど高くなっています。

〔HbA1c5.6以上の割合
（岩国市・山口県・全国、2017（平成29）年度）〕



〔HbA1c5.6以上の割合
/性・年齢別（岩国市、2017（平成29）年度）〕

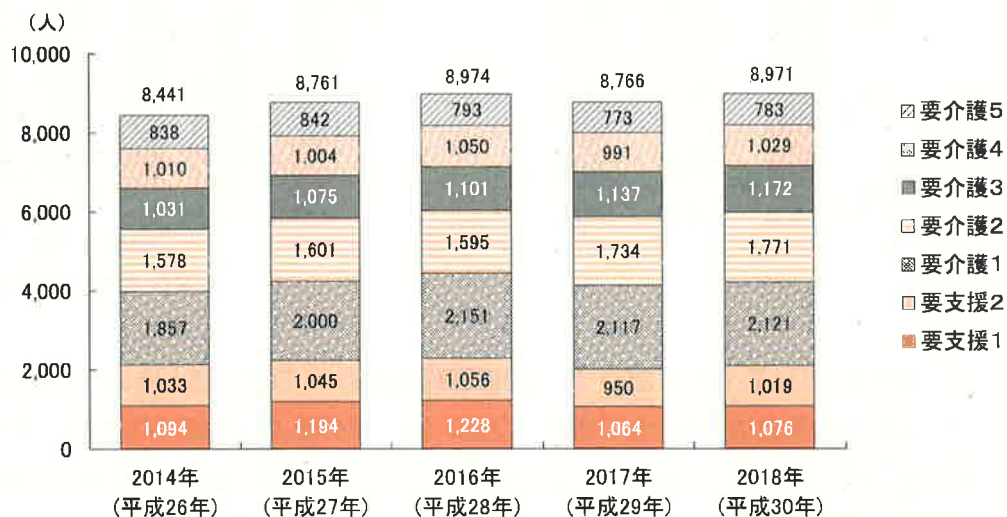


資料：国保データベースシステム

(3) 要介護者等の状況

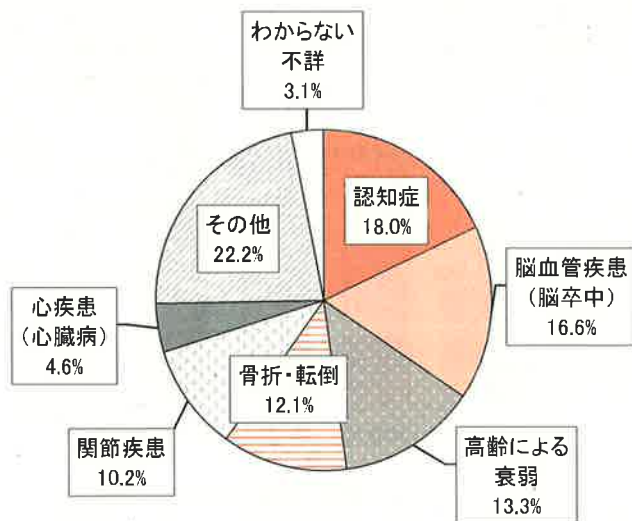
- 本市の2018（平成30）年3月末の要支援・要介護認定者数は8,971人であり、制度改正の影響による2017（平成29）年3月末を除いて、年々増加傾向にあります。
- 国民生活基礎調査による介護が必要となった主な原因は、「認知症」の割合が最も高く、「脳血管疾患（脳卒中）」、「高齢による衰弱」、「骨折・転倒」、「関節疾患」、「心疾患（心臓病）」が続いています。
- 岩国市の2017（平成29）年度の国民健康保険（40歳～74歳）・後期高齢者の要介護（支援）者の有病状況は、「心臓病」の割合が最も多く、「筋・骨格」、「精神疾患」、「脳疾患」が続いています。

〔要支援・要介護度別認定者数〕



資料：介護保険課（各年3月末現在）

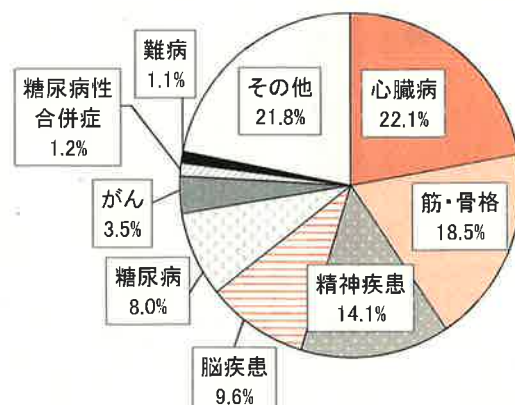
〔介護が必要となった主な原因(全国)〕



資料：国民生活基礎調査（2016（平成28）年）

〔国民健康保険（40歳～74歳）・後期高齢者の要介護

（支援）者の有病状況（岩国市、2017（平成29年度）〕

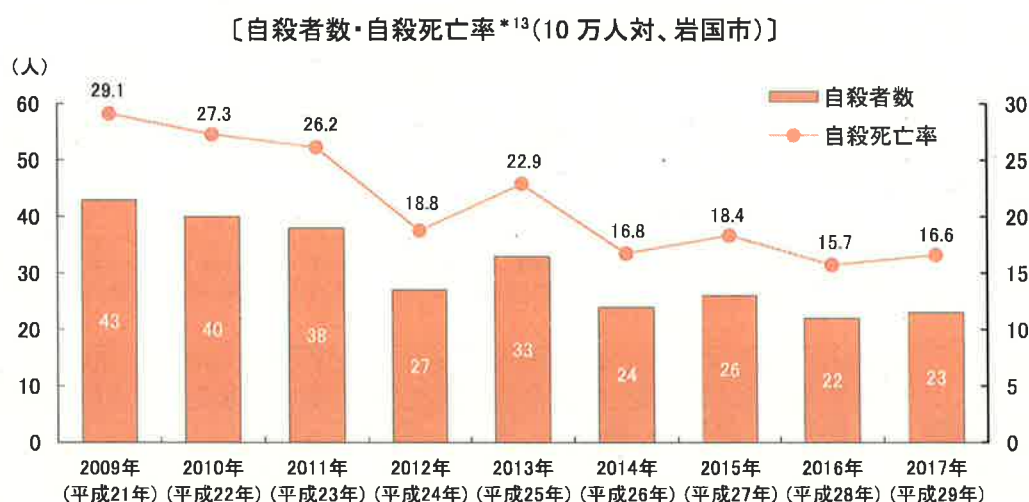


資料：国民健康保険データベース

4 自殺の状況

(1) 岩国市の自殺の状況

- 本市の2017（平成29）年の自殺者数は23人であり、おおむね減少傾向にあります。
- 2012（平成24）年～2016（平成28）年の合計による年代別死因の順位を見ると、自殺は10～19歳、20～29歳、30～39歳で1位、40～49歳で2位、50～59歳で3位となっています。
- 2012（平成24）年～2016（平成28）年の合計では、男性が8割を占め、男性60歳代の人の割合が最も高くなっています。



資料：岩国市地域自殺実態プロフィール（自殺総合対策推進センター）

〔年代別死因順位

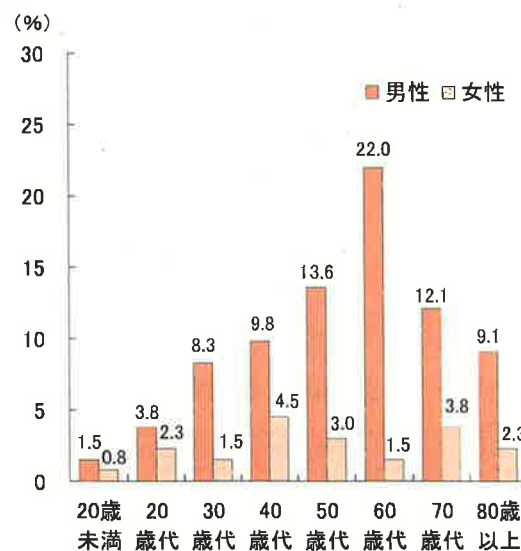
（岩国市、2012（平成24）年～2016（平成28）年合計）〕

死因順位	1位	2位	3位
10～19歳	自殺	悪性新生物・心疾患（高血圧性を除く）※悪性新生物・心疾患同数	
20～29歳	自殺	不慮の事故	悪性新生物
30～39歳	自殺	不慮の事故	悪性新生物
40～49歳	悪性新生物* ⁵	自殺	心疾患（高血圧性を除く）
50～59歳	悪性新生物	心疾患（高血圧性を除く）	自殺
60～69歳	悪性新生物	心疾患（高血圧性を除く）	脳血管疾患
70～79歳	悪性新生物	心疾患（高血圧性を除く）	脳血管疾患
80歳以上	心疾患（高血圧性を除く）	悪性新生物	肺炎

資料：山口県保健統計年報（2012（平成24）年～2016（平成28）年）

〔自殺者の性・年齢別割合（岩国市、

2012（平成24）年～2016（平成28）年合計）〕

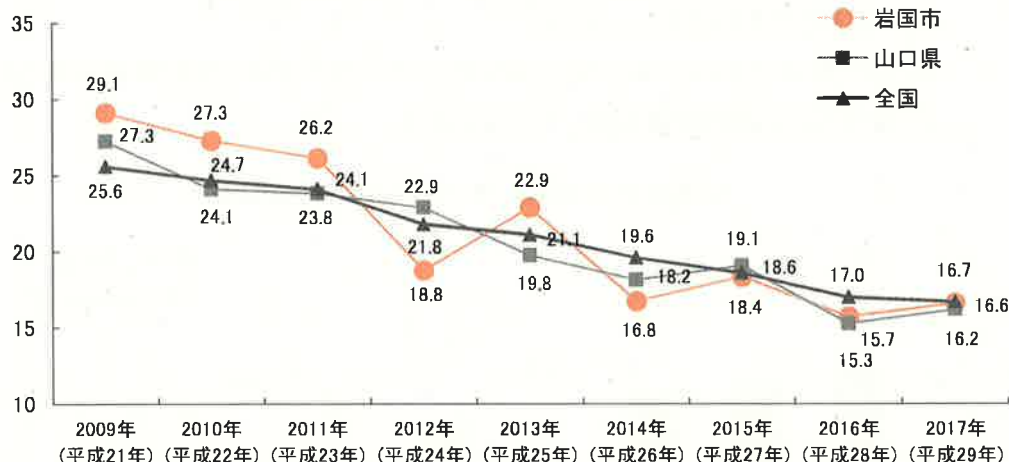


資料：岩国市地域自殺実態プロフィール（自殺総合対策推進センター）

(2) 全国・山口県との比較

- 本市の自殺死亡率^{*13}は、全国、山口県と比較すると、ほぼ同様の傾向で低下していますが、2016（平成28）年、2017（平成29）年は山口県を上回っています。
- 2012（平成24）年～2016（平成28）年の合計の性別・年齢別の死亡率を見ると、男性50～59歳・60～69歳・70～79歳・80歳以上、女性20歳未満・40～49歳で全国、山口県の値よりも高く、特に男性60～69歳で高くなっています。

〔自殺死亡率（人口10万対、岩国市・山口県・全国）〕

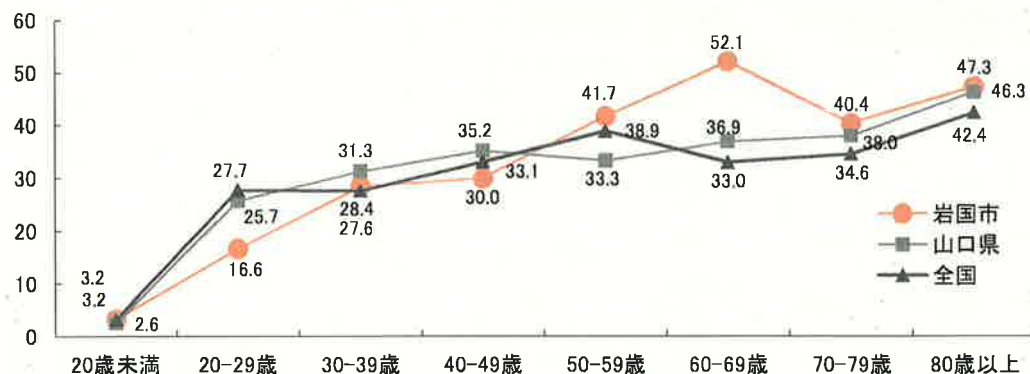


	2009年 (平成21年)	2010年 (平成22年)	2011年 (平成23年)	2012年 (平成24年)	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)
岩国市	29.1	27.3	26.2	18.8	22.9	16.8	18.4	15.7	16.6
山口県	27.3	24.1	23.8	22.9	19.8	18.2	19.1	15.3	16.2
全国	25.6	24.7	24.1	21.8	21.1	19.6	18.6	17.0	16.7

資料：岩国市地域自殺実態プロフィール（自殺総合対策推進センター）

〔男性の自殺死亡率（人口10万対）〕

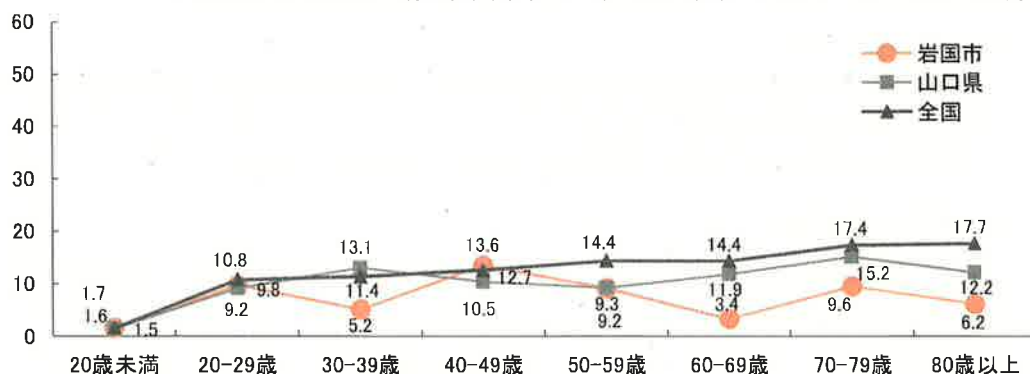
/年齢別（岩国市・山口県・全国、2012（平成24）年～2016（平成28）年合計）



	20歳未満	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
岩国市	3.2	16.6	28.4	30.0	41.7	52.1	40.4	47.3
山口県	2.6	25.7	31.3	35.2	33.3	36.9	38.0	46.3
全国	3.2	27.7	27.6	33.1	38.9	33.0	34.6	42.4

資料：岩国市地域自殺実態プロフィール（自殺総合対策推進センター）

〔女性の自殺死亡率*¹³(人口10万対)
/年齢別(全国・山口県・岩国市、2012(平成24)年～2016(平成28)年合計)〕



	20歳未満	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
岩国市	1.7	9.8	5.2	13.6	9.2	3.4	9.6	6.2
山口県	1.5	9.2	13.1	10.5	9.3	11.9	15.2	12.2
全国	1.6	10.8	11.4	12.7	14.4	14.4	17.4	17.7

資料：岩国市地域自殺実態プロフィール(自殺総合対策推進センター)

(3) 岩国市の自殺の特徴

- 本市の2012(平成24)年～2016(平成28)年の合計の自殺者は132人であり、男性60歳以上の無職で同居者がいる人が20.5%で最も多くなっています。
- 自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きています。自殺総合対策推進センターが作成した本市の自殺実態プロフィールでは、次の表のような特徴があります。地域での優先的な取組として「高齢者」、「生活困窮者」、「無職者・失業者」への対策が挙げられています。

〔岩国市の主な自殺の特徴(2012(平成24)年～2016(平成28)年合計)〕

上位5位	自殺者数 5年計	割合	自殺死亡率※1 (人口10万対)	背景にある 主な自殺の危機経路※2
1位 男性・60歳以上・ 無職・同居者有	27	20.5%	43.4	失業(退職)→生活苦+介護の悩み (疲れ)+身体疾患→自殺
2位 男性・60歳以上・ 無職・独居	16	12.1%	132.2	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→ 将来生活への悲観→自殺
3位 男性・40～59歳・ 無職・独居	10	7.6%	619.7	失業→生活苦→借金→うつ状態→ 自殺
4位 男性・60歳以上・ 有職・同居者有	10	7.6%	28.1	①【労働者】身体疾患+介護疲れ→ アルコール依存→うつ状態→自殺 ②【自営業者】事業不振→借金+介 護疲れ→うつ状態→自殺
5位 男性・40～59歳・ 有職・同居者有	10	7.6%	15.7	配置転換→過労→職場の人間関係の 悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺

※ 1 順位は自殺者数の多さに基づき、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順

2 自殺死亡率の母数(人口)は2015(平成27)年国勢調査を元に自殺総合対策推進センターが推計

3 「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書2013(ライフリンク)を参考

資料：岩国市地域自殺実態プロフィール(自殺総合対策推進センター)

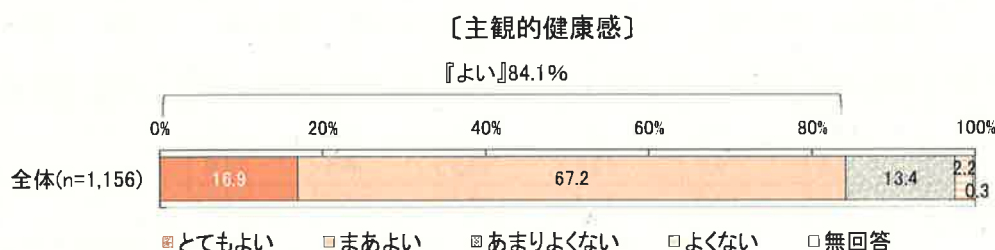
5 岩国市民の意識動向（アンケート結果）

※アンケート結果の見方

- ①図の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため回答比率の合計が 100.0%とならないことがある。
- ②「n」は回答数を表している。
- ③複数回答の質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。

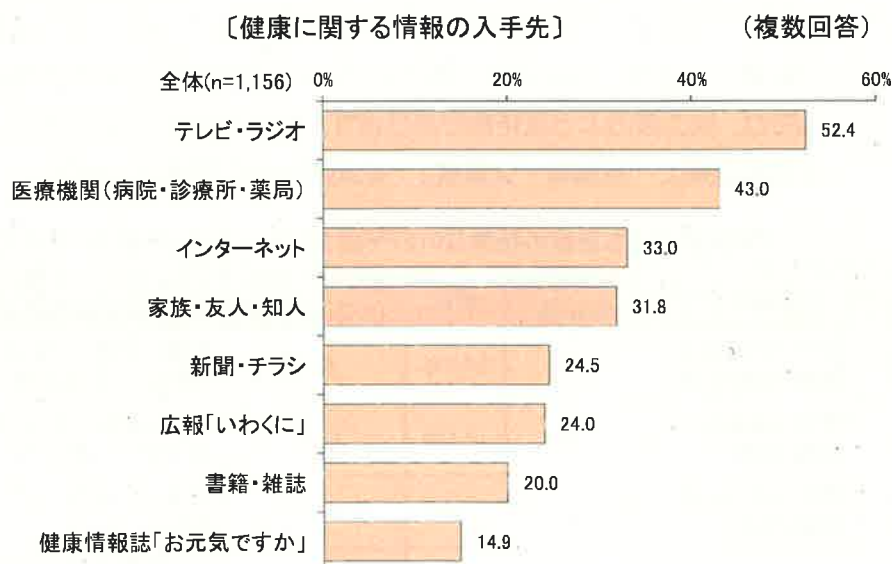
(1) 主観的健康感

主観的健康感について、『よい』（「とてもよい」＋「まあよい」）と回答した人の割合は 84.1%となっています。



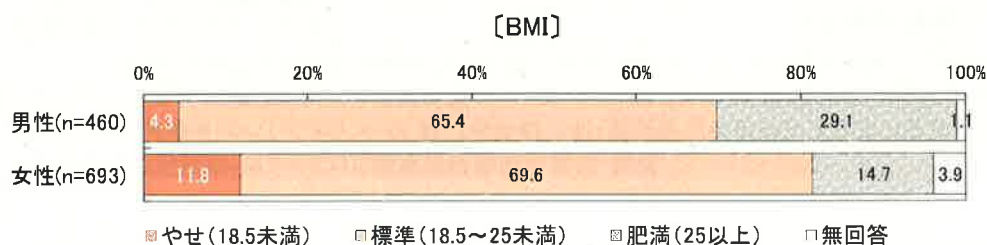
(2) 健康に関する情報の入手先

健康に関する情報の入手先は、「テレビ・ラジオ」、「医療機関（病院・診療所・薬局）」が上位となっています。



(3) BMI *11

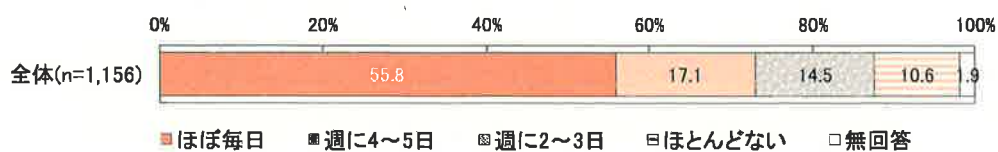
男性の 29.1%が、肥満に該当します。



(4) バランスのよい食事の摂取

主食、主菜、副菜を1日2回以上揃えて「ほぼ毎日」食べる人の割合は、55.8%となっています。

〔主食、主菜、副菜を1日2回以上揃えて食べる頻度〕

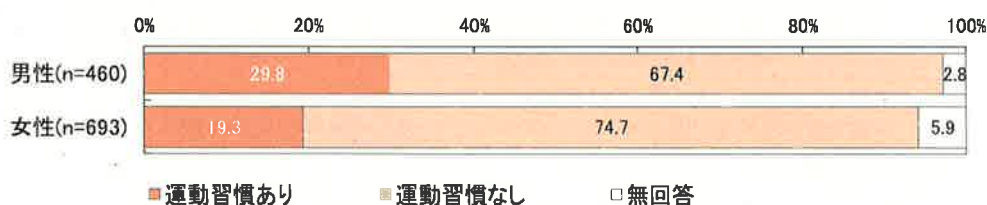


(5) 運動習慣

運動習慣がある人の割合は、男性で29.8%、女性で19.3%となっています。

※運動習慣がある人：1日30分以上の運動を週2日以上、1年以上継続している人

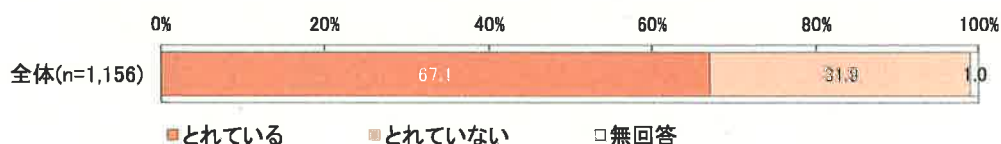
〔運動習慣〕



(6) 睡眠による休養

睡眠による休養が十分にとれている人の割合は、67.1%となっています。

〔睡眠による休養の状況〕



(7) こころの悩みやストレス

悩みやストレスを常にかけている人の割合は、16.0%となっています。

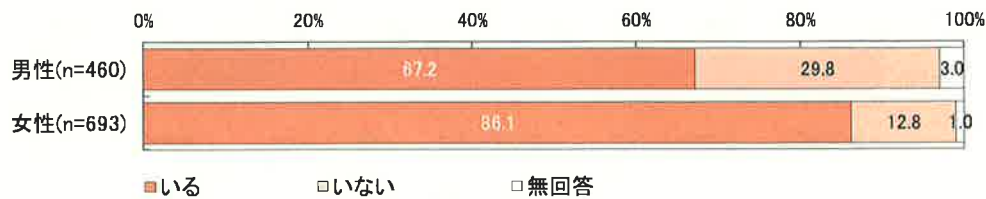
〔こころの悩みやストレスの状況〕



(8) 相談相手

悩みやストレスを感じた時に相談する人がいない人の割合は、男性で高く、29.8%となっています。

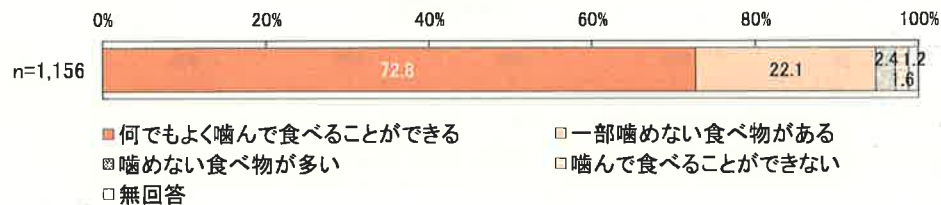
〔悩みやストレスを感じた時に相談する人の有無〕



(9) 咀嚼

食べ物をよく噛んで食べることができる人の割合は、72.8%となっています。

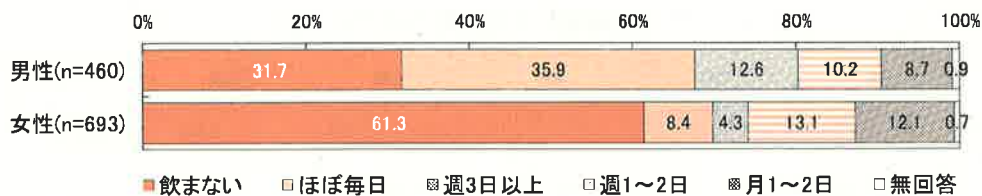
〔食べ物をよく噛んで食べることの状況〕



(10) 飲酒

毎日飲酒する人の割合は、男性で35.9%となっています。

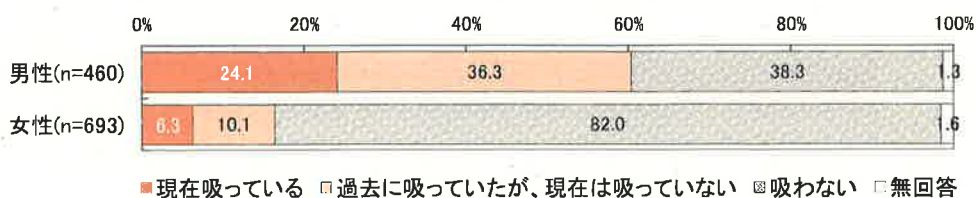
〔飲酒頻度〕



(11) 喫煙

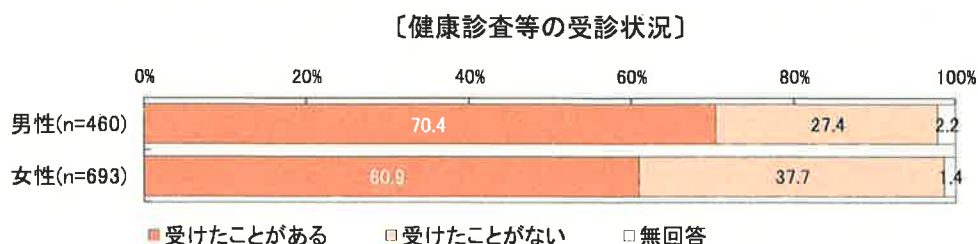
現在たばこを吸っている人の割合は、男性で24.1%となっています。

〔喫煙の状況〕



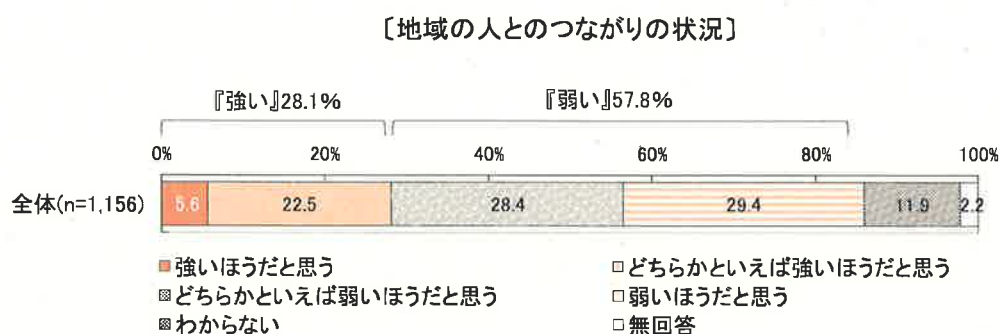
(12) 健康診査

過去1年間に健康診査等（健康診断、人間ドック）を受けたことがある人の割合は、男性で70.4%、女性で60.9%となっています。



(13) 地域の人とのつながり

地域の人とのつながりが『強い』と回答した人の割合は28.1%、『弱い』と回答した人の割合は57.8%となっています。



(14) 幸福度

幸福度について10点満点で聞いたところ、平均7.1点となっています。

